

審査結果報告書

平成 2 年 1 月 2 日

主 査 氏 名

高 桐 翔 士



副 査 氏 名

比 企 直 樹



副 査 氏 名

佐 藤 文 子



副 査 氏 名

丹 上 俊 介



1. 申請者氏名 : 丸橋 孝昭

2. 論文テーマ : Novel transcatheter arterial embolization method for hemodynamically unstable pelvic fractures to prevent complications of gluteal necrosis
(血行動態不安定な骨盤骨折に対する殿筋壊死発生を予防する新たな血管内塞栓法)

3. 論文審査結果 :

不安定型骨盤骨折に対する血管内塞栓術有用な手段であるが、使用する塞栓の妥当性、そして殿筋壊死と血管内塞栓術の関連性は不明である点も多い。本研究はそれらの不明点を明らかにする目的で行われた。研究は後ろ向きに 2005 年 1 月から 2015 年 12 月にわたり両側内腸骨動脈の起始部から非選択的に塞栓を Cutting 法で作成したゼラチンスポンジを用いて行った 70 例を対象として検討された。その結果、2005 年以後は殿筋壊死は生じなかったが、それ以前に生じた殿筋壊死群と比較すると、新しい塞栓術の所要時間は短縮しており、塞栓にかかる時間と骨盤創外固定が殿筋壊死発生に関与していた。本研究は、新たな血管内塞栓法は殿筋壊死を予防し、迅速な止血が可能となり、カテコラミンを使用することなく早期に循環動態を安定化させることが可能となり、結果として殿筋壊死予防となったと結論した。本研究は審査委員の検討により医学博士の学位を授与するに値するものと結論に至った。